

全日中事務局だより

折り鶴と全日本中学校長会広島大会

▼本年五月十九日～二十一日までG7  
広島サミットが開催された。その初日、  
岸田総理は、平和記念公園でG7首脳  
夫妻を出迎えた後、共に広島平和記念  
資料館を訪問した。原爆死没者慰霊碑  
に献花、黙祷を捧げた後、被爆校（ソ



外務省 HP より

メイヨシノ）の植樹を行った。

▼この際、アメリカのバイデン大統領  
が自ら持ち込んだ折り鶴二羽を原爆資  
料館が保管しているという報道も御存  
じの方も多いと思う。

▼話は飛んで昭和三十年十一月十一日  
（金、十二日）に「第六回全日本中  
学校長会広島大会（当時）」が広島市公  
会堂で開催された。全国四六都道府県  
から二、〇五九人の校長が参集した。

▼大会の記録を調べると、大会の協賛  
として話題に上がっていた事項の中  
は、当時の「中央審議会」に中学校の代  
表が出ておらず、全日中から審議員  
として参加することを当時の文部省に  
要求することが入っている。また、文部  
省助成課長質疑応答の中では「屋内体  
操場」つまり体育館の建設促進が話題  
になっていた。隔世の感を禁じ得ない。

▼大会開会式では、開催地代表として  
田中元逸広島県校長会長（広島市立

のほりちゅう  
織町（中学校長）が歓迎の挨拶を行っ  
た。この中で田中校長は次のような話  
をされた。その一部を全日中に残され  
ている記録から抜粋する。

「ようきんさつたのー（略）」

あの原爆の悲劇は今尚続いているので  
す。原爆症に苦しんで今だに死亡して  
いく行く人が跡をたたない現状です

本年に入り十五名の貴い命が亡くな  
り、先月（十月）の二十五日、我が校  
の生徒であります佐々木貞子（中学一  
年）は、その貴い犠牲者の十五人目と  
なりました。

彼女は、二歳で被爆し、母の努力で  
倒壊した屋根の下から救い出されまし  
たが、本年の一月、全身のリンパ線が  
腫れ上がり、原爆症と判明。日赤で治  
療しましたが、その甲斐もなくとうと  
う亡くなりました。

生前、彼女は床の中でせっせと鶴を  
折っていました。この鶴を千羽折っ

たら、私の病氣は治るのだ」と確信して毎日鶴を折りました。だが、とうとう駄目だったのです。(略) こうした惨めさを生んだ原爆十周年の今日、本大会が広島で開催される事は誠に意義深いものがあります。(略)」

▼当時、田中学校長が勤務していた幟町中学校では、佐々木禎子さんの死に衝撃を受けた同級生たちによって、「原爆で亡くなったすべての子どもたちのために慰霊碑をつくろう」と全国へ呼びかけがすでに始まっていた。

▼広島大会当日(十一月十二日)、幟町中学校代表生徒八人が広島市公会堂の会場を訪れ、会場前で手作りのピラ二千枚を配り、全国から集まった校長たちに賛同を求めた。そのピラには呼びかけ人として「広島市立幟町中学一年生 故佐々木禎子級友一同」との記述があった。

▼このピラ配布については、広島平和

記念資料館本館内に参加生徒と配布ピラの写真がパネル展示してある。

▼広島大会終了後、まもなく全国各地の中学校等から二万円(昭和三十年十二月時点)の寄付金が寄せられた。当時の大卒者初任給は一万一、〇〇〇円だった。その後、広島市内の小中学校の児童会や生徒会も加わり募金活動が進められた。やがて、子供たちによる募金活動が始まり、全国三、一〇〇校



余りの児童生徒と世界各地の人々からの支援により、昭和三十三年五月五日「原爆の子の像」が完成した。

▼広島市のホームページによると、今も「原爆の子の像」には日本国内をはじめ世界各国から折り鶴が捧げられ、その数は年間約一千万羽、重さにして約一〇tにもものぼる。その千羽鶴は公園内に展示された後、定期的に回収・保管された後、再生紙としてリサイクルされ、広島では葉書やノート、卒業証書などに活用されている。

▼また、広島市立幟町中学校では、毎年、平和記念公園で全校生徒が参加して「原爆の子の像」碑前祭を開催している。今年は三五回を迎え七月二十一日に式典が開催された。

#### 会員計報

茨城県板東市立東中学校長  
西山則夫様 五十七歳 八月四日

謹んでお悔やみ申し上げます、御冥福をお祈り申し上げます。

(事務局長 富士道正尋)